



復興支援に向けた多様な担い手のロードマップについて ～NPO 等、企業等、自治会等、市町村、都道府県・国の取組～

復興庁ボランティア・公益的民間連携班及び男女共同参画班では、今後の復興にあたり、多様な担い手が連携して取り組むべき 5 つの分野における「ロードマップ」を作成しましたので、ご案内します。

1. 「ロードマップ」について

被災者生活支援や復興まちづくりなど、これからの多様な復興ニーズに柔軟に対応するには、行政・民間それぞれの担い手が多様に連携しなければなりません。また多様な担い手が連携して復興にあたるには、「課題」や「目標」を担い手間で共有しておく必要があります。こうした考えから、向こう 3 年間に於いて目安となる目標・取組を 5 つの分野で提示したものが「ロードマップ」です。

2. ロードマップの活用について

ロードマップは、「被災者生活支援」「遠隔避難者支援」「復興まちづくり」「産業再生・就労支援」「多様性への配慮」の 5 つの分野について、過去の大規模災害などを参照しながら、各年ごとに目安となる状態目標をとりまとめています。また、状態目標を達成するために、おおむね 3 ヶ月ごとに「目標に向けた取り組み」を定め、担い手間で共有しながらその取り組みに着手していくことで、「連携復興」がより成果の高いものとなると考えられることから、担い手間で議論するための「ワークシート」も作成しましたのでご活用ください。

【参考：「ボランティア・公益的民間連携班」について】

「ボランティア・公益的民間連携班」は震災直後に「内閣官房震災ボランティア連携室」として立ち上がった組織を原点としており、復興庁の発足とともに「ボランティア・公益的民間連携班」として再スタートしました。復興への取り組みが進む中、これまでのボランティア活動はもちろん、企業や団体による社会貢献活動などの公益的な民間活動においても、復興庁の窓口として一層の連携を進めてまいります。

本件連絡先：

復興庁ボランティア・公益的民間連携班

男女共同参画班

担当：羽多野、新免 電話：03-5545-7480（直通）